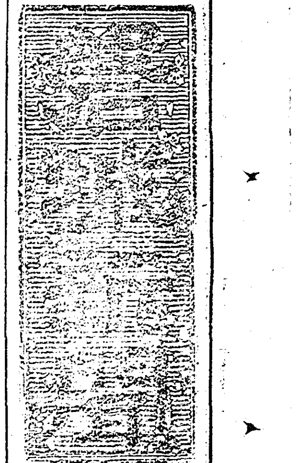


夕刊

五月二十五日發行

萬座毛（下）

那覇にて　糸數正雄

山羊の鳴聲が、低い百姓家の匂ふか、上氣したな氣に浮上つて來、道は松防風林に分け入る。風鳴りがごうごう聞れる一杯投げ散に開まれ、松林の外れに在る行弱な石碑の前に私は立つた。歌人恩納奈邊記念碑と、村の子供等の落書が目につく。鯨走つ石段の三四段が古い歌人を過ぎる心なき龍をはせて、淋しい感日別の通らぬ裸地にな松笠を踏んで、私はた。先端に一禮するを忘かつた。恩納文に恩納ナベの歌一首が書かれてある

『波の聲もとまれ風の聲もとまれ
首里天加那志みおんへ
拜ま』

「尚敬王時代享保の頃の恩納村、農家に生れ、夫は番所の微賤な馬追であつたと言ふ。

歌は享保十一年十月、尚敬王北山巡遊の際、萬座毛の廣場に臼太鼓、盆踊りにあはせて詠じたものであ託して、その雄渾壯重の調は。吾が萬葉歌人に比し遜色を見ない。」

村役場の書記が書いたであらう木標が、叢薬の中に傾いて立つて居た。

萬座毛に立つた。

萬人の座せる毛氈の意から名附けられた芝の廣場を湖に臨んだ蘇鐵と岩石が、あちらこちらに座を占めて居る。

毛の偏圍は、百尺の崖となり斷ち切られて居る。

松の腕の綠を逼り廻る氣持で、海を見下した。

私は藪中の靜謐を潰き、ある頃圍の上に立つて居るを意識しつつも、二百年前北山の手を迎へた北山の寮村臼太鼓が、尚は沖鳴りの響きの中に聞き得なものかと耳を澄まし。

低く淡い海面總てを驅り立てて、風は海に衝き當る。

知らない鳥が平たい飛び去る岡の上にきつきな喉の鳥がにつて、其處ら簡扱にごくごくと吹き流む感じである。

雲が流れる

遠い時代の質朴敦厚な村娘たちが、重ねに結ひ上げた黑髮にジーファー（銀かんざし）を飾つて地味な藍着のまま坐つであらう毛氈の上に、今はコンクリートの休憩臺が造作されて居る。

私は、ちかちかと、日射しを四く攪きかへして居る石のテーブルの上に、古い琉歌の本から恩納ナベの歌を拾つて居た。

『恩納松下に禁止の牌の立ちゆす
戀忍ぶまでの禁止やないさめ』

『地頭代主したり御取次しやべら
あんま代の神遊許ち給うれ』

春雜詠

井上アキ

○春近み軒端の雪の融くる音藥園の面にかそけかりけり
○縁側に現なく居るわが耳に力の限り牛鳴く聞ゆ
○庭先間のしづまに響くせゝらぎの音立つ今を聞くぞたのしき
○雪融けしわが庭隅に今朝見れば土押除けて蕗の薹出づ

新刊紹介

△國民法律顧問五月號　法律と人生。判例から見た法律の實際問題。刑法の話。法律の風味其他多趣味な記事滿載（半年分會費一圓二十錢　年分二圓二十錢　東京市荒川區尾久町五ノ一、一八一　其會）

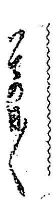
春の足

村瀨邦子

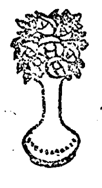
づんづん、つきのたみもの
肌ざわりもよき　すべつつこゝにある。
芽を吹つては、またのびのびと
波がうねるような、呼吸づかひ
もちこれる、血潮たひでもあらうか
しかも純朴な、素性のよさがある。
噎を出いた。あまりの蒸はしさに
かゝわるもののない、天地の擽がら。
づんづん、ちかづきあつて
この瞬間は、しばらく盲目になる。

5月26日　△宇治川合戰（治承四）△下田條約成り米人の在留を許す（安政四）

5月27日　△諸國に水車を造らしむ（天長六）△安土の法論（天正七）△日本海大海戰（明治三八）△ノモンハン附近で越境外蒙機九機を擊墜（昭和一四）



○



餘りあるを待ちて人を濟へば終に人を濟ふの日なく、暇あるを待ちて書を讀まば必ず書を讀むの時無し　古語

講談　夜嵐お絹（よあらしおきぬ）

[77]　悟道軒圓玉　筒井直衛畫

談判

『旦那暫くお待ち下さいまし、私は此の常陸屋の支配人ではございますが、金子の出し入れは萬事主人が致して居ります、さすれば私の一存を以ちまして只今五百兩差出しまするは……』

『迷惑だと申すか、然らば吾々共奥へ踏へ込み金子を持參たす、コレ承れ、當家の主人源兵衛は一千兩の小判を米國人に賣り渡し其節彼の國の弗にて三千兩を受取つたぞ、其事は是にある書附が委細白狀して居る、これを見ろ』

出しては源兵衛の自筆で而も捺印までしてある證書、番頭の勘助はとんだ者が此の浪人者の手に入つたと苦い顔をした、酒井愛之助は一と膝乘り出して

『證書を見たか』

『見ましてございますが、一應主人に尋ねました上御挨拶を致します』

『控へろ、主人に尋ねた上返答するとは申すは我々を怪しき者と存じ居るか、天下の通用金を外國人に讓渡し不正なる利益を得るは是で賣賊、外國人打拂の血祭として主人を打ち果すは當然なれど厚大の慈悲を以つて首は胴に着けておく、依つて五百兩差出せ、主人不在なればとて支配人たるものの一存にて取計ふ事も成るであらう、此の五百金は貴殿且又主人の首代である、何うだ判つたか』

『小々お待ち下さいまし、主人の妻女共相談いたしまして御挨拶を致します』

番頭の勘助は廊前の座敷に頭や手足を細帶しで臥て居る源兵衛の許に來て、

『旦那、わらい事が始まりましたよ』

『何んだそのえらい事とは』

……何に浪人者が來て五百兩出せと、途法もない事を云ふ奴だ、こゝが一歩か兩なればくれてもよいが五百兩は大金だ、然も云ふやら、江戸に町奉行もあり、又其他にお役人も居ります、何の由縁もないお前さん方に莫大な金を差出す事は成りませんと、キッパリ斷れ、お前は番頭でありながら其の無法者を追い拂ふ事が出來ぬか、此上にも强請がましい事を云つたらば早速訴へろ』

『それがネ訴へる事が出來ない理由がございます、何しろ證文が白狀して居ります』

『何んだかお前の云ふ事は判らねえ、證文が白狀したとは、珍らしい事を聞くものだナ、兩國の見世物でも臍に煙管を通して煙草を喫み又流行唄をうたつた事は聞いたが證文が物を云つた事は聞いた事がない、浪人にさう云へ、人を甘く見るナ、弱い町人にはお奉行様がついて居るとさう云へ』

と源兵衛啖呵を切つた、スルト勘助が、

『それは旦那、此の事に就てはお奉行様の御威光も役にも立ちません、ト申すは小判を賣り込んで大金をウイリアムさんから受取つた事をあの浪人者は知つて居ります、又書附に、千兩の小判を三千兩の弗に替へたと云ふ事も貴下の自筆で書いてありまして然も實印まで押してあります』

『それは大變だ、ウーム……然か、大崎別判で驗盟、あの革袋をなくしたが、それが彼奴の手に入つたか』

『兎も角も五百兩出せ、これは横濱に居る外國人を打拂ふ軍資と主人の首代だと申します、然し旦那五百兩は大金、それを出し度くないと思召すならば、神妙に首をお渡しになりますれば五百兩には手はつきませぬ』

『馬鹿な事を云ふな、俺の首は五百兩では買る事はおろか、オイ勘助、早速岩淵先生に此の事を知らせて』

『畏りました、それでは先生の力を借りませう』

と勘助は裏口から出て行つたが、間もなく門人を引連れて來たは常陸屋の護衛をし備はれて居る劍の先生岩淵源平、苗字はあもあり名には錢を添へてあり强うさうが大膽、瀧川吉右衛門、又酒井愛之助の爲めに骨に徹へる程の苦痛を舐めて居る、然し元氣は旺盛。

五月人形

尚武日本ニ　尚武節句

皇記二千六百年を紀念する

◎勇ましい武者人形
◎鯉のぼり
◎甲冑類

各種御道具豐富取揃ました

四丁目　スガノヤ提灯店　電話九五番

五月人形

皇紀二千六百年の輝やかしい端午の節句を

勇ましい武者人形よろひ。兜。鯉幟で御祝いたしませう

各種取揃ました

金太郎玩具店　平市三丁目二

實用新案　硬質陶器製　輕便スチームアイロン

アイロンの底から蒸氣が吹き出る
＝電氣アイロンの時代は去る＝

最大特長
一、キリを吹きかけなくとも自動的に蒸氣が出ます
一、アイロンは輕く肩は凝らず然もキヽメ萬點です
一、家庭の火鉢で簡單に蒸氣が出ます
一、如何なる織物も蒸氣アイロンに優るものは有りません

特にステーブル物には絶對的に其他一般織物には效果優秀なる事保証致します

本器　自動蒸氣發生裝置　定價　金貳圓八拾錢

販賣店　濱三郡配給所　とらや旅館　平市田町三番地　電話六四八番
販賣店　平驛前　村山書店

五月人形

紀元二千六百年の端午の節句

無度御引立に預り有難存じます例年通り豐富に取り揃へ陳列致しました御贔屓の上御用命の程願ます

内幟及布鯉、紙鯉、武者人形及よろい兜陣道具類一式

平市本町三丁目　落花生問屋　叶屋加藤商店

皇紀二千六百年の祝尚武の節句!!!

おなぢみの人形店が來ました。製造人から皆樣へ即賣すると

代用品より人形は格安です

時局人形其他新型人形澤山陳列致しました是非御來店御覽下さい。來月十日（舊五月五日）迄大々的勉め致します

平市一丁目　賓月　黒須人形店直出張

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術　電話　六七八營業所　五二五自宅
平市驛前　水野化粧院

科外生徒募集

一、邦文タイプライター科
◎時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）　十ケ月（小高卒程度）
◎卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します

一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科　一ケ年　速成科　六ケ月

文部大臣認可　平陽女學校（平市　電話四四五番）

中等學校制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服　新入荷
並ニ注文既製品
高島屋　平市二丁目　電話三八六番

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に（マスク）各種あります
病氣豫知に（體溫器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局　電話四四番　振替東京三〇〇六五番

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第二八〇九七八號）
使用法ハ紙節約ノ目的ニテ墨テ書キテ濕雜巾ニテ拭ケバ何回ニテモ使用出來マス

實用新案
メモ板　第二七七九〇四號
野球用ボール第一七九七三號
興亞ノート　第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第（イ）一七三六〇號　第（ロ）一七三六一號）
平市月見町十三　合資會社　興亞文具店

純綿利用加工時代！
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速　叮嚀
吉田屋染工場　平市五丁目　電話五五八番

外科一般　婦人科　内臟外科　性病科　肛門病科
平市南町十四番地（警察署通り角）（診療所　平市六丁目）
木村外科醫院　木村淳　電話三〇九番
◎入院應需

改組精動が地方へ 奉公日の趣旨を強調
市內某方面でも反省か

時局の重大性に反省し、前線將兵の勞苦を偲ぶ事等によつて一層銃後意識を深め國民の奮起に資せんとする興亞奉公日は昨年十月制定以來、自肅休業等に現れた表面的形式から時局的趣旨を體する向が多い中にも、少年婦女などの間にはこれを當然與へられた公休なるかに穿き違へて居るかに見受けられた場合があり、隨つて當日の過ごし方に就は地方でも往々研究と改善を要するものと觀られてゐたが一週間後に改組最初の奉公日を迎ふる精動本部では六月一日の奉公日からこの精神を強調し實踐第一主義の指導方針をとることに決定此程夫々地方關係各方面へ通牒したとのことで、從來その點に就て遺憾の節が絕無でなかつた平市の或る方面にも何等かの改善が行はれるではないかと看取させる

販賣會社平出張所開設必至
地方賣炭業者關心を深む

石炭販賣の一元的統制を目的として創設された一大販賣會社の出張所が平市內に設けられる氣配に在る旨最近報道の通りであるが右は愈よ今夏中から下準備を開始十月早々本格の營業に入るもの〻如く目下事務所の位置選定に關し頻りに考慮中の模樣である

右は石炭の偏在を矯め需給圓滑、適正價格の維持のその他により時局に即應せんとする大資本の半官半民的大會社として事業の運營が整然一糸亂れさるものあるべきは勿論地方生產の販賣用石炭が悉く一元的に取り纏められ所定の段階を經、特定の關係業者へ渡り終始公正な手續き裡に各需要者に配給せられる事となつ居るので彼此需給者間に濟す處頗る大なるものがあらうと

在米一齊調査
申告は有の儘に

在米一齊調査は政府米の供出並に飯米の需給調整を目的に愈よ來る三十日午前零時現在で行はれるので目下調査員は申告義務者に對する申告方法の指示に忙しく市ではこれを前にして昨二十四日市內各區長を通じ有の儘申告するやう周知せしめた

渡邊帝大博士の調査結果を聽取
愼重を期す市委員側

掘採下地

磐城炭礦出願にかゝる平市地下採掘問題に對し飽迄愼重を期する委員側では過般來兩三回に亘り協議を重ねたが更に今二十五日午前十時から委員會を開いた結果來る二十九日委員一行が仙台鑛山監督局を訪問當局の意向を打診し更に東大地質學研究所に斯界の權威渡邊久吉博士を訪ねて博士が一昨年調査したその結果を聽取これにより今後なほも愼重討議の上最後の態度を決定することゝなつた

一町歩燒失
高久の山火事

二十四日午後八時頃高久村上山口字十文字地內山林（市內五丁目酒井亥之次郎氏所有）から發火、高久、豐間兩村警防團員や村人が驅けつけ消火に努めたが約一町歩を燒いて十二時近く鎭火した、損害四百余圓、原因は焚火の不始末らしい

六名で袋叩き　內郷村綴の炭礦坑夫齋藤某（三）外五名は二十一日夜十時半頃芝居見物の歸途同村金坂地內で通行中の炭礦坑夫池田一（二〇）に喧嘩をふつかけ袋叩きにして平署の取調べを受けた

新綠濃い鑛泉宿に 閑寂な歌の集ひ
松村英一氏小瀧に來遊

現代歌壇一方の雄「國民文學」の松村英一氏は、既報の如く會津方面からの歸途昨二十四日午後一時湯本驛下車同行の郡山菁が學館主、高見檜吉、同華道教師大槻米子兩氏と共に小名濱郊外小瀧鑛泉に入り、少憩の上地元の短歌人

小山田滋（湯本）渡邊淸子（玉川）高木愛二（磐崎）佐川和弘（小名濱）小濱牧泉（同）

諸氏と共に歌會を催し、了つて簡素な晩餐を共にし乍ら閑寂な初夏の湯の宿に心ゆく迄歌を語り合ひ、今二十五日夕刻歸京した。詠草は明後月曜紙上に掲載する

平局で古雜誌寄附　平局では廢品回收運動に呼應し從業員から集めた古雜誌百余點を前線勇士のため市銃後奉公會へ寄附した

○なほ郡專賣出張所でも古雜誌十餘點を同樣寄附

地上の生物蘇る
有難い夜來の慈雨

月初めからの日記を繰つて見ても四、五、十三、十八日と降つた必ずしも雨足の筈は無いわけだが、其の都度比較的量が不足だつたのと、眞夏に等しい過ぐる兩三日間の高溫に挿秧前の水不足が懸念され、一方今が發育盛りの茄子、胡瓜トマト其他畑ものが枯死に瀕した場所すらあり、地方農家は勿論、市內居住の一坪園藝家から迄適當の一降りを望まれてゐた折柄、新緑を洗ふ夜來の雨は殆ど完全に當面の水不足を救濟し一雨千金も誇張に過ぎるが時節柄有り難い慈雨として農家を喜ばせ、地上の生物悉くが頓に生色を取り戾した。野菜も出廻らうし、田植ゑも順調に行はれやうとし初夏の雨は來るべき暑さの前奏として此上なく明るい氣分を見せてゐる

保護委員辭令傳達　地方唯一の免囚保護機關たる平刑務所內財團法人平自營會では來る三十一日午前十時から市公會堂に於て增員による司法保護委員の辭令交付傳達式を擧行すると

傳染病に罹るな
けふ市から注意書

市では今年も漸く傳染病の流行季が近づいたのでお互ひ衛生に留意し、これが豫防をはかるやう今二十五日市內各區に注意書を配布市民の警戒心を喚起した

國体觀念を基調とし使命達成に邁進せよ
阿部氏講習から歸る

既報、東京小金井の青年道場で開かれた大日本青年團の全國青年團幹部第二回錬成講習會に本縣代表として出席、去る十二日から二十二日まで全國代表四十四名と共に指導を受けて歸つた市內鎌田町青年團長阿部乘千代氏は、この講習で得た今後の青年團の進路につき左の如く語る

國體觀念を基調としてその精神を日常の行動にとり入れることによつて今後青年團の使命は一層意義づけられるものであり一般に範を垂へつゝ團員がガッチリ手を組み合せ前線に劣らぬ働き振りを見せねばならない、本縣に於ける團の陣容强化は昨年君島知事の提唱によつて改組を斷行、全國に先んじて銃後の使命達成に專念してゐることは誠に喜ばしい、前後十一日間の講習は教練や青年体操長時間の聽講など全く軍隊式で、この尊い体驗を今後に生かし及ばずながら力を盡したいと思ふ

神谷二毛作褒賞授與　神谷村では二十五日二毛作品評會の褒賞授與式を擧行したが一等入賞左の如し

（大麥）西山金衛、鈴木勘次郎（苗代）吉田正則、松本光丘（坪刈）星實（ナス）志賀榮太郎、阿部長兵衛（キウリ）鈴木星衛（南瓜）鹿崎才一郎（トマト）鈴木貞衛

島田氏寄附　東京島田忠夫氏は縣立平工業學校圖書購入費の一部にと本社を通じ金十圓の寄附取斗らひ方を申し越した。同氏の口座から本社の口座に振替わた由

寄附　市內南町喜乃華會では此程三曲演奏會を開いた純益十圓を市銃後奉公會へ寄附した

賀平商業校新築竣成　珠雲　小野務平

多歲翻翻而後英
堂々學舍又新成
寄言千百靑衿子
大造唯當答聖明

平市慶弔錄

△出生　新川町一四辻寅吉氏七女〆子さん

○婚姻　神奈川縣川崎市中島町二丁目三六五舟口三四郎氏（二八）と大町三河田シゲエさん（二四）

畑陸相から感狀
氣負ふ上好間防空群

好間村上好間字下綱第八區家庭防空群長江島寛さん外十四名は昨年訓練の都度手當を節約、七圓五十錢を國防献金したこれに對し畑陸相から此程感狀を贈られた群長さん以下大いに張り切り銃後防空陣確立の覺悟を新にしてゐる

遺族美談募集

市では軍事保護院が戰歿者遺族の精神教化を目的に發行する『軍國の母の姿』に掲載の遺族美談を來月十日まで方面委員、軍人遺家族身上相談人の手で募集する

島岡社長を祝福
入山職員の風懷

入山採炭株式會社長島岡亮太郎氏は本年恰も古稀の高齡に達し、尙ほ矍鑠壯者を凌ぐ概を示し乍ら一路銃後の鑛業報國に邁進しつゝあるを祝福する爲同社所屬職員は各自詩歌、俳、書、畫等に祝意を敍べ向來の自重健闘を祈念することゝなり目下着々準備中であると

陣中を聽く
（770）

何卒御奮鬪下さい 私も相變らず元氣
市內田町出身　鷺　廣次君（信通）

御無沙汰致しました。此度表記へ勤務することになりました。何卒宜敷く

今日は四月二十九日です。公園の躑躅が爛開い頃と存じます。

當地は菜の花も疾つに終り、青々とした麥畑ばかりです。日中などは帽子無しでは歩けぬ始末です。此の分では七、八月頃はどんなでせう。併し興亞の聖業に參加する光榮の感激と信念からそんなものの克服は何でもないでせう。

皆々樣にも益々御多忙の御事と存じますが、折角御自愛の上御奮鬪下さいます樣小生も相變らず元氣。まだ一度も病氣もした事も御座いません。

戰況も既に皆樣ラヂオニュースで御判りと存じますので私よりの報道はお許し下さい。

末筆乍ら市長樣はじめ皆々樣の御健康をお祈りして御挨拶に替わる次第です

風も引かぬ
市內平窪出身　薄葉三吉君

御一同樣御壯健のおん事とお察しお喜び申上候

お陰樣にて小兵上陸以來今日迄風邪一つひかず益々元氣に軍律を守り從事致し居り候へば御事乍ら御休心下され度候。

小生留守中種々御懇ろなる御厚情厚く御禮申上候。今後も一層奮鬪し皆々樣の御恩の萬分の一なりと皇國の爲に働く念願に御座候

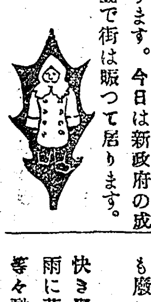
宜しく今後とも御願申上げ候。大陸に足を入れて早や××に相成り候。

水牛の背に鳥が止まり囀く樣などまさに內地では見られぬ風景にて御座候。其他種々ののんびりした光景有之候が再たそのうち御便可申上候

成立に賑ふ
市內出身　井上榮市君

長らく御無沙汰致して居ります。皆樣には相變らず公務のため御勉勵の事と存じます、お蔭樣にて小兵も相變らず元氣で日を送つて居ります。

中國の空も日の丸と新中國の旗が凛々しく飜つて居ります。今日は新政府の成立で街は賑つて居ります。



拈華微笑

奉公日を公休と穿き違ふな！と精動改組劈頭のヒツト

□お互の心構へも勿論大事だが、指導側にも遺憾無かりしや否や

□遮莫。今度の朔日からは市內でも從來と異つた氣分が見度い

□次に公休と戶締めを不可分と心得る市內商店錯覺も廢めて欲しい

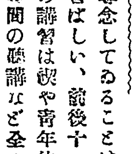
□快き野の戰慄。夜來の慈雨に茄子、胡瓜、トマト等々甦る

能率が上る
ムツソリーニペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃ひの此の吾がムツソリーニを親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
平市掻槌小路
代理店　魁文堂　電話313番

天氣豫報（小名濱測候所觀測）
今晩　北の風　曇　小雨
明日　北南の風　曇　時々晴

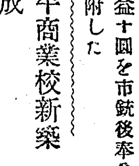
二十六日（小名濱測候所調）
滿潮　前八、三〇　後六、〇〇
干潮　前一、〇四　後一、〇五

二十七日
滿潮　前九、三〇　後六、四五
干潮　前一、三〇　後一、五五



新曆五月二十六日　日曜
舊曆四月二十日　己巳　大安　建　房宿

▲一白　事每に思慮くの外れて失敗に終り易き日▲二黑　何事に付けても面白くのび行く大吉日たり▲三碧　突發的猛進は却て事を破るの恐れあるべし▲四綠　元氣旺んなる日にして新しき事に尤も吉し▲五黃　家園を改ため新規方面に進出するに吉き日▲六白　不自由勝の事のみ多く生じ來り進まれぬ日▲七赤　ころう頭迷にかたむくときは四圍より故障を受く▲八白　正路をふみ自重して進む時は大吉日と成る▲九紫　何事も細かき所に目を配りゐろうなき樣注意



新曆五月二十七日　月曜
舊曆四月二十一日　庚午　赤口　除　心宿

▲一白　他人の苦を安信するときは意外の失敗あり▲二黑　目上の者と意見の合はざる事の生じ易き日▲三碧　誠意事に當らば意外の援助を得て慶ある日▲四綠　頭開發に向ふべき日徐ろに行動するが吉▲五黃　目前の感情に驅られて衝突し易し注意の日▲六白　引込み思案をせず秩序正しく進むに利あり▲七赤　身の分限を守り進退時を以てすれば吉を得▲八白　一小事の爲めに進路を誤る勿れ强みて吉し▲九紫　悲運も志一つにて一轉して吉に向ふべき日

銃後の護りは……先づ健康から
如何にして難病を征服すべきか
工學博士藤山常一先生發明　世界七ケ國專賣特許
磁氣放射　マグネタイザー
適應症　高血壓、中風、神經痛、ロイマチス、胃腸病、痔、肋膜炎、婦人病、小兒癇症、蓄膿症、喘息其他
種々の療法を試みても捗々しくない御方はスグ一度御試驗して下さい。從來の電氣の如くビリ〳〵する不快な感じは絕對になくお召物の上から誠に氣持よく、しかも大衆向料金で可爽に治療致します。
午前八時より午後九時まで（每月第一日曜休業）
平市二丁目三十一番地（元專賣局跡）
最低の料金　最高の効果主義　平磁惠院

產婦人科　井坂醫院
平市田町　電五五九
見習看護婦入用

吸入用酸素　純度99％
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体温器　寒暖計
秤ノ取締　垂糸・檢締致シマス。
關內藥局　電話四〇番

病室・手術室完備
產婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
（物理療法科併置）【入院隨時】
平市新川町（電話三六九番）

眼科專門　眼鏡檢定
重田眼科
平驛前　重田醫院